

2019年研究活動実績

著書

- 中村廣隆 (2019). 近藤克則 (編): 住民主体の楽しい「通いの場」づくり 「地域づくりによる介護予防」
進め方ガイド, 東京: 日本看護協会出版会
- 中村廣隆. 第1章. 2) ファシリテーションを学ぼう. p 16-24
- 中村廣隆. 第2章. 5) 通いの場づくりの事例. p 58-63
- 中村廣隆. コラム p 12, p 30, p 41

学術論文

- Takahiro Iwasaki, Akiko Hirose, Tetsuji Azuma, Tamie Ohashi, Kazutoshi Watanabe, Akihiro Obora, Fumiko Deguchi, Takao Kojima, Atsunori Isozaki and Takaaki Tomofuji (2019). Association between eating behavior and poor glycemic control in Japanese adults. *Scientific Reports*, 9, 3418.
- 林久美子, 岩崎淳子, 北端恵子, 高橋直美, 北村真由美 (2019). 成人看護実習におけるインシデント, ヒヤリ・ハットに関する文献レビュー. 第49回日本看護学会論文集 慢性期看護, 358-361.
- 桐山啓一郎, 松井陽子, 矢吹明子 (2019). 精神看護学実習中の倫理カンファレンスに参加した臨床実習指導者の体験 — 学生の学びへの貢献と, 看護実践への影響. 日本看護倫理学会誌, 11(1), 67-74.
- 桐山啓一郎, 出口一樹 (2019). 疾病地図を用いた岐阜県の自殺多発地域の特定と自殺予防対策に関する考察. 東海公衆衛生雑誌, 7(1), 79-84.
- 北村真由美, 岩崎淳子, 田島真知子, 森本直樹 (2019). 成人看護学演習の授業展開 — グループワークによるパンフレット作成の学習効果の検討 —. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 38-42.
- 松井陽子, 片岡三佳 (2019). 精神科看護師が患者のストレスに気づいたきっかけに関する研究. 三重看護学誌, 21, 63-69.
- 松井陽子, 片岡三佳 (2019). 精神障害者のリハビリテーションにおける支援者を対象とした文献レビュー. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 12-18.
- 武藤英理 (2019). 臨床看護師の看護専門職としての成長の契機. 第49回日本看護学会論文集 看護教育, 207-210.
- 本田可奈子, 大澤伸治, 大橋英治, 廣瀬真弓, 武藤英理 (2019). シミュレーション学習を活用した急性期看護学実習前学習の支援: 臨床看護師との協働の試み. 滋賀医科大学雑誌, 32(2), 12-19.
- Hirota Nakamura, Yoshihiko Yamazaki, Chiyo Murata (2019). Social activities and subjective well-being among older persons in Japan. *Journal of Epidemiological Research*, 5(1), 56-61.
- 名和祥子, 中野志保, 樹神千尋 (2019). 看護学生におけるエイジズムに関する文献検討. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 43-48.
- 佐藤章伍, 清水八恵子, 原好恵, 神谷美香, 須賀京子. 病棟における身体拘束の実態と開始/解除基準に関する文献検討 — 身体拘束に対する看護師の意識の視点から —. 愛知県看護教育研究学会誌, 22, 40-44.
- 清水八恵子, 神谷美香, 佐藤章伍, 横田知子, 小園千草, 原好恵, 須賀京子 (2019). 基礎看護学実習 I 学内実習における模擬カンファレンス自己評価の比較. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 30-34.
- 菅原隆成 (2019). 肢体不自由児サークル「そらまめ」による全国障害者問題研究会全国大会参加とボランティアスタッフの実際. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 49-53.
- 渡部真奈美 (2019). 教育虐待, 教育ネグレクトを知っていますか?. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 35-37.

矢吹明子 (2019). 臨床看護における行動分析学に基づいた準実験研究の現状と課題 — 2007年～2017年の文献検討 —. 朝日大学保健医療学部看護学科紀要, 5, 19-25.

学会発表

廣瀬晃子, 小澤亨司. 卒業直前における歯科衛生士専門学校生のエイズに対する認識調査. 第78回日本公衆衛生学会総会. 高知. 2019.10.23～25.

中村光浩, 堀部めぐみ, 笹岡沙也加, 長沼美紗, 長谷川栞, 原英彰. テキストマイニングによる産後うつについて母親が思うことの実分析 — ソーシャルメディアにおける発言の内容から —. 第52回東海薬剤師学術大会. 三重. 2019.12.1.

神谷美香, 岩瀬千尋, 須賀京子, 岩瀬敏. 温水洗浄便座の使用方法による排泄促進効果の検討. 第98回中部地区老年医学談話会. 名古屋. 2019.2.9.

Maki Sato, Sayo Oishi, Chihiro Kodama, Yoko Inukai, Mika Kamiya, Naoki Nishimura, Dominika Kanikowska, Satoshi Iwase. Effect of blue light blocking glass on clock gene expression, melatonin secretion and sleep quality in humans. *Experimental Biology*. Orlando. April 6～9. 2019

桐山啓一郎. 精神科スーパー救急病棟で患者の「こうありたい」という希望を反映した看護に関する聞き取り調査. 日本精神保健看護学会第29回学術集会. 名古屋. 2019.6.8～9.

桐山啓一郎. 精神科スーパー救急病棟入院中の患者が看護師に伝えたい「こうありたい」という希望と実践されている看護. 看護実践研究学会第1回学術集会. 羽島. 2019.9.7.

桐山啓一郎, 松下年子. 一般病棟で実施されている身体拘束予防・早期解除の取り組み — 東海4県への郵送式質問紙調査より. 第39回日本看護科学学会学術集会. 金沢. 2019.11.30～12.1.

松井陽子, 片岡三佳. 精神科病院における看護トップマネージャーを対象にした国内文献レビュー. 日本精神保健看護学会第29回学術集会. 愛知. 2019.6.8～9.

松井陽子, 片岡三佳. 精神科看護管理者が認識するうまくいったリカバリーに向けた取り組み. 日本精神障害者リハビリテーション学会第27回大阪大会. 2019.11.22～24.

松井陽子, 片岡三佳, 谷村晋. 精神科看護管理者のリカバリー志向とその関連要因に関する研究. 第39回日本看護科学学会学術集会. 石川. 2019.11.30～12.1.

片岡三佳, 松井陽子. 精神科看護師が行うストレングスおよびストレングスモデルに関する国内文献検討. 第39回日本看護科学学会学術集会. 石川. 2019.11.30～12.1.

森本直樹, 須賀京子. ラベンダーオイルを使用した足浴によるリラックス効果の検討. 第28回愛知県看護教育研究学会. 愛知. 2019.10.19.

武藤英理. 看護管理者の概念化の過程. 第23回日本看護管理学会学術集会. 新潟. 2019.8.23～24.

Chiyo Murata, Tami Saitou, Hirota Nakamura. Effect of a Group based Program on Subjective Well-being among Older Persons in Japan: A Mixed Method Study. 2019 MMIRA アジア地域会議 / 日本混合研究法学会第5回年次大会. 静岡. 2019.9.14～16.

中村廣隆, 佐々木直子, 来島修志, 本間萌, 平光良充. 高齢者の社会活動が健康意識の変化にもたらす影響について. 第78回日本公衆衛生学会総会. 高知. 2019.10.23～25.

名和祥子, 高橋由起子. 国公立大学病院に勤務する4～9年目の病棟看護師のWEに関する研究 — 家族背景と仕事に関する継続意思に焦点を当てて —. 第45回日本看護研究学会学術集会. 大阪. 2019.8.20～21.

名和祥子, 高橋由起子. 国公立大学病院に勤務する4～9年目の看護師のワーク・エンゲイジメントと自覚症状の関連. 第20回日本医療情報学会看護学術大会. 東京. 2019.9.27～28.

高橋由起子, 三枝聖美, 阿部誠人, 林久美子, 名和祥子, 浅野茜, 西本裕. 院外研修参加者の家庭内労働割合や専門職資格取得の意向と院外研修参加の影響要因の関係. 第20回日本医療情報学会看護学術大会. 東京. 2019.9.27～28.

佐藤章伍, 清水八恵子, 原好恵, 神谷美香, 須賀京子. 身体拘束の開始 / 解除基準に関する文献検討 — 各文献の結論に焦点をあてて —. 第 23 回日本看護研究学会東海地方会学術集会. 愛知. 2019.3.17.

萱原隆成, 白坂真紀, 桑田弘美. 在宅療養をしている肢体不自由児の災害に関する文献検討. 第 34 回滋賀県小児保健学会. 滋賀. 2019.9.28.

Yuri Nakagawa, Maki Shirasaka, Takanari Sugawara, Hiromi Kuwata. Effect of the aroma massage to a cancer patient receiving palliative care. ACMHN's 45th International Mental Health Nursing Conference. Sydney. October 8 ~ 10. 2019

Hiromi Kuwata, Tomohiro Ueno, Maki Shirasaka, Takanari Sugawara. The insulin pump troubles and life by the pubertal children with type I diabetes mellitus. ACMHN's 45th International Mental Health Nursing Conference. Sydney. October 8 ~ 10. 2019